## 御幸地区

## ◆概要

まち協名 【位置図】 御幸地区まちづくり協議会 所在地 電話 亀山市東御幸町220-3 0595-83-1232 地区構成 東御幸町 御幸町 地域特性 <u> 亀山市中心から東に位置し、東西に旧国道1号が縦断しており、沿道にはショッピングセン</u> ターをはじめ、飲食店舗、金融機関、文化会館が存しており、JR亀山駅が近く利便性が高 い地域です。また駅前再開発により令和4年度に市立図書館も整備されました。アパートや マンションへの新しい住民の流入が増加する一方、古くから住んでいた家屋が空家になるケースが増えつつあります。また一級河川の鈴鹿川やそこに流れ込む竜川があり、過去に 幾度か氾濫し水害の被害に見舞れ、災害への危険性もあり備えが必要です。 面積 66.4ha ホームページ http://www.zc.ztv.ne.jp/ec5svfnh/index.html めざす姿 生活環境が良く、安全安心に暮らせるまち 地域の誇り亀山機関区時代の名残である電動転車台や給水塔

#### ◆人口

		令和3年	令和6年	増減
総人口		782人	875人	93人
人口密度		11.77人/ha	13.17人/ha	1.40人/ha
65歳以上	人口	178人	197人	19人
	比率	22.8%	22.5%	-0.2%
18歳以下	人口	124人	152人	28人
	比率	15.9%	17.4%	1.5%
外国籍	人口	68人	52人	-16人
	比率	8.7%	5.9%	-2.8%

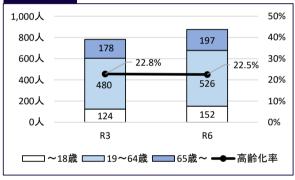
## ◆世帯

	令和3年	令和6年	増減
総世帯	406世帯	448世帯	42世帯
単身世帯 (75歳以上)	24世帯	27世帯	3世帯
複数世帯 (75歳以上)	11世帯	18世帯	7世帯
高齢者世帯割合	8.6%	10.0%	1.4%

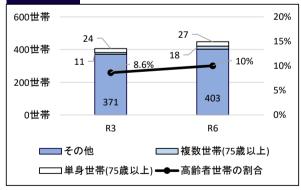
#### ◆介護保険認定者

	令和3年	令和6年	増減	
要支援1.2	13人	13人	0人	
要介護1~5	17人	21人	4人	
合計	30人	34人	4人	

## ◆人口推移



## ◆世帯推移



# ◆地域組織

	令和3年	令和6年	増減
自治会	9	10	1
老人クラブ	0	0	0
子ども会	1	1	0

## ◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員·児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	8
介護保険施設・事業所	0
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	1
病院•一般診療所	1
歯科診療所	2
薬局	3
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	16



感謝のつどい



文化祭

#### ◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

#### ◆サロン活動

	令和3年	令和6年	増減
ふれあい・いきいきサロン	2	2	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	1	0	-1

## ◆福祉委員会活動

- ◆構成員まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員
- ◆活動内容

#### 【交流活動】

高齢者と子どもとの三世代交流を深めるため御幸地区 文化祭を行っています。

#### 【訪問活動】

75歳以上一人暮し高齢者、高齢者のみ世帯の見守り訪問活動を年6回行っています。

#### 【その他】

出前講座や情報交換会を行っています。

#### ◆まちづくり協議会の恒例事業

- 感謝のつどい
- •文化祭
- ふれあい小旅行
- サロン活動
- •自主防災活動

### ◆生活支援コーディネーターからのコメント

御幸地区の人口は875人で、令和3年度と比較し93人増加しています。地域内人口のうち22.5%にあたる197人は65歳以上です。地域内448世帯のうち、10%にあたる45世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の5.9%にあたる52人が外国籍です。

地域の特色として、地区内に図書館や文化会館などの公共施設や医療機関、金融機関、ショッピングセンターが立地し、生活に便利な地域であると考えられます。

地域の活動として、住民の防災意識の向上を図ることを目的に、地区独自の防災世帯台帳の更新や防災訓練における地震体験車による地震体験や避難所での炊き出し訓練などが行われています。地区内にマンションやアパートが多いことから、行事の案内は回覧板のほか学校を通じても行うなど、若い世代も地域活動に参加できるよう工夫されています。また、福祉委員による高齢者見守り訪問を年6回実施するなど日頃から住民同士のつながりを意識した取り組みが行われています。今後、積極的に取り組まれている防災活動を通じて自治会単位で住民同士の顔の見える関係性を深めるとともに、お互いに支え合う意識の醸成につなげていくことが期待されます。